

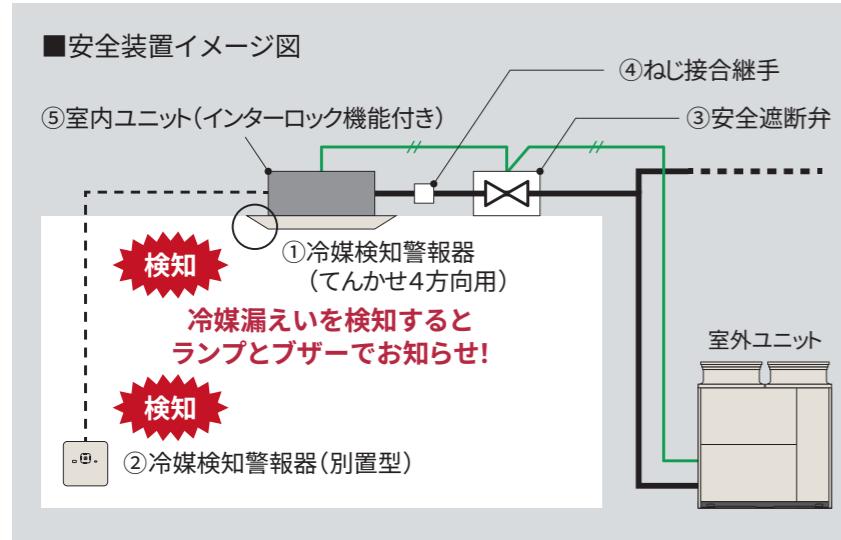
# R32ビル用マルチエアコン安全対策

R32 VRF Safety Measures

## ビル用マルチエアコンの冷媒R32採用に伴う 安全対策のご紹介

Introducing Indoor Units & Safety Measures for VRF using R32 Refrigerant.

JRA規格(日本冷凍空調工業会が制定、発行する規格)「JRA GL-16」「JRA GL-20」「JRA 4070」に準拠した室内ユニットの制御やオプション(冷媒検知警報器・安全遮断弁・ねじ接合継手)をラインアップしました。室外ユニットも設置状況によっては安全対策が必要です。室外ユニット用冷媒検知警報器もご用意しますので、詳細は営業窓口までお問い合わせください。



### 冷媒R32 日立業務用空調機器 安全対策 要否判定ツールページのご案内

冷媒R32採用のビル用マルチエアコンを導入の際に、冷媒漏えい時の安全対策の要否判定を掲載しているページのご案内です。

<https://www.hitachi-gls.co.jp/kentatsu/support/r32safetycheck>



### ①②冷媒検知警報器(オプション・組み込み出荷も可能)

冷媒検知警報器は下記の2パターンから選択いただけます。

#### パターン① 室内ユニット内蔵型 NEW

室内ユニットに取り付けるタイプの冷媒検知警報器です。2026年4月より冷媒検知器内蔵タイプ(型式末尾がKAB型[受注対応])<sup>※1</sup>を品揃えします。検知器、ねじ接合継手の同梱が可能です。施工会社の省力化、省コスト化により、施主さまも人件費削減により、コスト減につながります。<sup>※2</sup>2026年春より順次対応予定。



### ④ねじ接合継手(オプション・KAB型は同梱)

「ねじ接合継手(オプション)」は冷媒漏れ想定箇所から除外されるので、室内ユニットに冷媒検知警報器を内蔵する「冷媒検知器内蔵タイプ(型式末尾がKAB型)」では天井の有無にかかわらず、別置型の冷媒検知警報器の追加は不要になります。



#### ■室内ユニット用ねじ接合継手

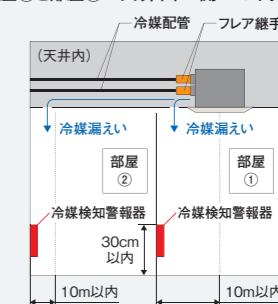
型名	適用 室内ユニット 容量・型名	同梱数			
		φ6.35	φ9.52	φ12.7	φ15.88
NST-GP63	22~63型	1	—	1	—
NST-GP160	71~160型	—	1	—	1

JRA GL-16の改正に伴い、  
天井内の扱いが変わりました。  
(2025年4月より)

配管接合部	ろう付け または ねじ接合継手	フレア継手
対策要否	対策不要	各部屋の 安全対策要否の 判定が必要

対策要の場合、  
「冷媒検知警報器」  
の設置が必要。

例)フレア継手で天井開口がある場合。  
(部屋①と部屋②の天井面の開口が同程度の場合)



その他にも下記検討項目があります。  
・天井の種類  
・各部屋における天井開口率の違い  
・フレア継手場所  
・部屋の容積など

### ②別置型(オプション)

- 室内に調和するデザインにしました。
- ブラックは特注対応しています。(写真はホワイト)

型式:PDA-GPZ (外形寸法H120mm×W120mm)



### ③安全遮断弁(オプション)

冷媒検知警報器で冷媒漏えいを検知すると、安全遮断弁が作動し、室内ユニットへの冷媒供給を遮断します。これにより室内への冷媒漏えいを最小限に抑えます。



### ⑤インターロック機能(室内ユニット制御)

室内ユニットは、工場出荷時はインターロック(空調システムが運転不可)が機能しています。安全対策の要否などによりインターロックの解除方法が異なります。詳細は技術資料をご参照ください。